

地方都市での陽性者の検査・予防サービスの接点に関する調査

研究代表者：金子典代（名古屋市立大学看護学部 准教授）
研究協力者：健山正男（琉球大学大学院医学研究科）、和田秀穂（川崎医科大学）、
高久陽介（日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）
高田清式（愛媛大学医学部）、伊藤俊広（仙台医療センター）、
山本政弘（九州医療センター）、
塩野徳史（大阪青山大学健康科学部看護学科）

研究要旨

地方都市に居住する HIV 陽性者の感染判明前の検査行動、医療機関の利用、予防介入との接触、ゲイ向け商業施設の利用状況、性行動については明らかになっていない点が多い。

本研究では、沖縄、中四国の地方都市に居住する過去 5 年に HIV 陽性が判明したものにおける陽性判明前の検査行動、性行動および予防サービスの接点を明らかにすることを目的とする。拠点病院に通院する陽性者の診断年はさまざまであるため、共同研究者が診療に従事する病院に通院する平成 25 年 1 月以降に HIV 感染が判明した男性に限定して実施した。質問紙は、拠点病院の医療者から説明、参加協力を依頼し、同意を得られた対象から郵送にて回収を行う方法を採用した。中四国、九州ブロックにおけるエイズ治療の拠点病院に通院する陽性者へ質問紙を配布し、2019 年 3 月時点で 30 件を回収した。本報告では 2019 年 2 月末までに回収したゲイバイセクシュアル男性 22 名分の分析を実施した。中途解析の段階ではあるが、ゲイバイセクシュアル男性の回答者のデータの分析の結果、地方都市では急性感染症状を発症した際に病院を受診しても HIV 検査を勧められていない可能性があることが示唆された。陽性判明前に検査を受けたことがあるものは 23%であった。HIV の感染経路や予防方法についての知識はあるものの、HIV 治療薬の進歩による延命効果や、医療費の助成制度の認知は低いことが示唆された。

A. 研究目的

我が国の HIV と AIDS の総報告数は、都市部の感染拡大抑制により横ばいに転じてきている。しかし地方都市では、都市部と比較して、AIDS を発症して感染が判明する患者が多く深刻な問題となっている。この事態の背景には、地方都市では検査を受けていない感染リスク層が多いことが示唆されている。より効果的な HIV 感染者の早期発見や感染リスク層への検査行動の促進を考えるにあたっては、HIV 陽性者の感染判明前の検査機会や検査行動をとりにくかった理由を聞くことはきわめて重要となる。しかし、地方都市に居住する

HIV 陽性者の感染判明前の検査行動、医療機関の利用、予防介入との接触、ゲイ向け商業施設の利用状況、性行動については明らかになっていない点が多い。

本研究では、沖縄、九州、中四国、東北地域の地方都市に居住する過去 5 年に HIV 陽性が判明したものにおける陽性判明前の検査行動、性行動および予防サービスの接点を明らかにすることを目的とする。

必要性・意義：AIDS 患者割合が多い地方都市において HIV 検査行動の促進と予防行動の推進は急務となっている。地方都市では、エイズ予防に充てる予算や人的資源が限られて

おり、今までにまして効果・効率の良いプログラム考案が求められている。HIV 感染者の早期発見に資する効果的な検査勧奨、予防行動プログラムの考案には、近年に感染が判明した陽性者から得られる情報はきわめて重要である。

B. 研究方法

中四国、九州ブロックのエイズ診療拠点病院に通院する HIV 陽性者を対象に、横断型自記式質問紙調査を実施し、感染判明前の検査、医療機関の利用、予防啓発との接点を把握する。

本質問紙調査は、HIV 患者が通院する共同研究者が診療に従事する HIV 診療拠点病院において実施する。対象となる患者は、HIV 診療経験が豊富な医師・医療保健専門職が通院患者に質問紙を手渡しし、調査目的、参加条件を説明し、回答を依頼する。回答した質問紙は、封筒に本人に厳封してもらい、会場内に設置した鍵付き回収箱にて回収し、名古屋市立大学に郵送する。ただし、本人が質問紙を記載するスペースがない施設については、自宅で記入し、各自回答済み質問紙のポストへの投函を依頼する。

本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会、川崎医科大学、琉球大学医学系研究科に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

拠点病院に通院する陽性者の診断年はさまざまであり、病歴が長い陽性者からの陽性判明前の状況の記憶はバイアスがある可能性が指摘された。そのため、共同研究者が診療に従事する病院に通院する平成 25 年 1 月以降に HIV 感染が判明した男性に限定することとした。調査項目は、陽性判明前の性行動、急性感染の症状の認知、検査行動、を含むものとした（資料 1）。

H30 年度は、中四国では川崎医大病院を拠点に、九州ブロックでは琉球大学に通院する陽性者へ質問紙を配布し、2019 年 3 月時点で

30 件を回収した。本報告では 2019 年 2 月末までに回収したゲイバイセクシュアル男性 22 名分の分析を実施した。

C. 研究結果

中間解析として回答者の基本属性、感染判明のきっかけ、感染判明前の知識、感染可能性の認識、医療機関へのアクセスについて表 1 の通りまとめた。

年齢層は幅広く分布しており、セクシュアリティはゲイが 64%、バイセクシュアルが 32%であった。感染したと思われるパートナーはその場限りのパートナーが 77.3%と最も多かった。

最初に HIV 陽性の告知を受けた機関は、病院、クリニックが 72%と最も多かった。感染したと思われる時期に、急性期の症状があったものが 55%と過半数を占めた。また症状をきっかけに医療機関を受診したものが 12 名中、11 名いた。しかしその際、HIV 検査を勧められたものは 5 名と半数以下であった。

陽性判明前の、感染に関する基礎知識（HIV の感染ルート、アナルセックスの感染の高さ、コンドームの効果）の正答割合は 8 割を超え比較的高かった。感染可能性は「まさか感染するとは思っていなかった」が 55%、自分は大丈夫、が 36%であった。HIV 感染症に関する比較的新しい知識である HIV 治療薬の延命効果を知っていたものは 36%、医療費の補助制度があることを知っていたものは 18%であった。陽性判明前に検査を受けたことがあったものは 23%であった。陽性判明前の 1 年間ゲイバーを利用者は 50%、ゲイナイト利用は 19%、有料ハッテン場の利用は 68%であった。

自由記載では下記のような意見が抽出された。

ゲイバイセクシュアル男性が置かれた立場

- ・ LGBT がもっと社会的に偏見なくうけいれられて（健全なる？）同性間の生活が出来る時代になれば自分は影にかくれたまま

生きてきて積極的な社会的行動を行わなかった。

HIV 感染症の身近さ、イメージ新しい知識

- ・もし、HIV に感染していても、死ぬ訳じゃない、人生終わりじゃないんだよという知識が、今よりもっと蔓延すれば、恐怖心を払拭でき、早期発見、隠れ HIV の減少に繋がるのかな？という気持ちはあります
- ・自分は大丈夫という根拠のない自信が一番の原因であった。
- ・ HIV に感染していたらすぐ症状が出るので、陽性者はセックスは行われないうちに思っていた。従って、うつす可能性は 0 に等しいと考えていた。

性行為時の予防行動、知識や危機意識が予防行動に直結するか

- ・性交渉時はコンドームを行うことの重要性
- ・感染する危険性より快楽を求める人間性をいかに押し殺すか
- ・今程ではありませんが HIV 感染のリスクについての知識は元々あった上での、感染だったので情報・警告が十分だったとしてもリスクのある行為そのものが減る…という事にはあまり直結しなかったかな？というのが本音です
- ・本人の意識や考えに準ずる事が大きくなかなか難しい気がします。
- ・情報等、目にしてもなかなか他人事のような感覚の方が強いのが実際である

TasP

- ・断言は出来ませんが、自分が HIV に感染した行為の相手は未投薬だったと思うので、その相手が検査を受け、投薬治療を行ってれば…それが一番の予防だったかな、と思います。

急性期の症状についての啓蒙

- ・急性期の症状をもっと広めることが重要性

D. 考察

本研究では、地方都市での検査アクセス、陽性判明前の性行動、急性感染に関する症状の認知を明らかにすることで、どこに今後予防介入のアプローチをかけていくかの基礎資料となる。本研究から、地方都市では急性感染症状を発症した際に病院を受診しても HIV 検査を勧められていない可能性があることが示唆された。また検査受検経験は低く陽性判明前に検査を受けたことがあるものは 23% であった。HIV の感染経路や予防方法については知識はあるものの、HIV 治療薬の進歩による延命効果や、医療費の助成制度の認知は低いことが示唆された。2019 年 12 月末までの実施で総計 70 名からの回収を見込んでいる。

E. 結論

平成 30 年度は、調査票を配布し、回収、分析を実施した。現在は中間時点であるが、どのようにすればより早期に発見できたか、また予防啓発をより効果的にするための意見など質的データを含むデータを収集した。質問紙の回収期限は 2019 年 12 月末日としており、次年度は最終とりまとめを行い早期発見の促進、予防啓発活動への還元を目指す。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) ○塩野徳史, 市川誠一, 金子典代, 佐々木由理: 都市部保健所における HIV 抗体検査受検者の特性, 厚生学の指標, 2018, 65 (5) 35-42.
- 2) ○金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去 1 年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1)34-44.

2. 学会発表

- 1) ○荒木順子, 金子典代, 木南拓也, 藤原

- 孝大, 阿部甚兵, 岩橋恒太, 高久道子, 本間隆之: akta 来場者における来場経験別の来場目的、HIV 検査行動、性行動、陽性者の身近さ。第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 2) ○岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 健山正男, 市川誠一, 荒木順子, 木南拓也, 生島嗣, 佐藤郁夫, 福原寿弥, 林田庸総, 中山保世, 小日向弘雄, 今村顕史: MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 大阪, H30. 12. 2-4
- 3) ○本間隆之, 岩橋恒太, 金子典代, 高久道子, 荒木順子, 木南拓也, 阿部甚兵, 藤原孝大: MSM 向けクラブイベント来場者における HIV 検査未受検者の特性 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 大阪, H30. 12. 2-4
- 4) ○和田秀穂, 塩野徳史, 徳永博俊, 竹内麻子, 健山正男, 市川誠一, 金子典代: 中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会 大阪, H30. 12. 2-4.
- 5) ○林田庸総, 土屋亮人, 高野 操, 青木孝弘, 瀧永博之, 菊地 嘉, 岩橋恒太, 金子典代, 岡 慎一: 乾燥ろ紙血を用いた HIV Ag/Ab 検査についての検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 6) 椎野禎一郎, 蜂谷敦子, 今橋真弓, 松田昌和, 岩谷靖雅, 横幕能行, 金子典代, 羽柴知恵子, 吉村和久: 国内伝播クラスタの検索プログラムの開発 2: 東海地方で若年層に急速に伝播を広げるクラスタの検出. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 7) 今橋真弓, 金子典代, 椎野禎一郎, 松田昌和, 蜂谷敦子, 岩谷靖雅, 横幕能行, 羽柴知恵子: 名古屋医療センターにおける 2009 ~2016 年未治療初診患者の後方視的生存率検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集

会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4

- 8) Takaku M, Dorjgotov M, Gombo E, Galsanjamts N, Jagdagsuren D, Ichikawa S, Shiono S, Kaneko N, Oka S: Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia 2017: The 32nd Annual Meeting of the Japanese Society for AIDS Research, Osaka, Dec. 2-4, 2018

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

表1. 対象者の属性（1）

	N	%
年齢		
20歳代	4	18.2
30歳代	8	36.4
40歳代	3	13.6
50歳代	3	13.6
60歳代以上	4	18.2
セクシュアリティ		
男性同性愛者（ゲイ）	14	63.6
両性愛者（バイセクシュアル）	7	31.8
その他	1	4.5
職業		
公務員、会社員（正規雇用）	9	40.9
パート・アルバイト・契約社員	6	27.3
自営業・自由業・経営	3	13.6
現在は働いていない	3	13.6
その他	1	4.5
考えられる感染経路		
同性間の性交渉	19	86.4
異性間の性交渉	1	4.5
薬物の使用・回し打ち	1	4.5
不明・その他	1	4.5
感染したと考えられるパートナー		
特定の相手（彼氏、恋人）	2	9.1
知り合いだが特定ではない相手（セックスフレンドなど）	2	9.1
その場限りのパートナー	17	77.3
わからない	1	4.5
最初にHIV陽性の告知を受けた機関		
病院	13	59.1
医院・クリニック	3	13.6
保健所・保健センター	5	22.7
郵送検査・自己検査	1	4.5
HIV陽性が判明した際、医師から受けた診断は以下のどれですか？		
HIVキャリアー（エイズは発症していない）	16	72.7
AIDS（エイズを発症している）	5	22.7
無回答	1	4.5

表 1. 対象者の属性 (2)

	N	%
HIVに感染したとき、HIVの急性期の症状はありましたか？		
あった	12	54.5
ない	4	18.2
覚えていない	6	27.3
急性期症状があった方_その症状をきっかけに医療機関は受診しましたか？		
受診した	11	50.0
受診していない	1	4.5
非該当	10	45.5
受診した医療機関では、HIV検査を勧められましたか？		
勧められ、受けた	5	22.7
勧められたが受けなかった	1	4.5
勧められなかった	5	22.7
非該当	11	50.0
陽性判明前の知識の有無。_1HIVは精液・血液と粘膜・傷口の接触によって感染する		
知識なし	3	13.6
あり	18	81.8
無回答	1	4.5
陽性判明前の知識の有無。_2特にアナルセックスではHIVの感染リスクが高い		
知識なし	2	9.1
あり	19	86.4
無回答	1	4.5
陽性判明の知識の有無_3HIVはコンドームで防げる		
知識なし	3	13.6
あり	18	81.8
無回答	1	4.5
陽性判明前に、あなたは自分がHIVに感染する可能性をどのように思っていましたか？		
まさか感染すると思っていなかった	12	54.5
感染している可能性はあるが、自分は大丈夫	8	36.4
いずれ自分も感染するだろう	1	4.5
無回答	1	4.5
陽性判明前に、「HIVに感染していても、治療によって一般の人と同じくらい長く生きることができる」ということをご存知でしたか？		
知っていた	8	36.4
知らなかった	14	63.6
HIVの治療費について、医療費補助制度があるということをご存知でしたか？		
知っていた	4	18.2
知らなかった	18	81.8

表 1. 対象者の属性 (3)

	N	%
陽性判明前にも、HIV検査を受けたことがありますか？		
あった	5	22.7
なかった	17	77.3
HIV陽性が判明する前にかかったことのある疾患 梅毒		
チェックなし	15	68.2
チェックあり	6	27.3
無回答	1	4.5
陽性が判明する前の1年間、ゲイバー利用頻度		
まあ 利用した	4	18.2
あまり利用しなかった (半年に2回以下)	7	31.8
全く利用しなかった	9	40.9
無回答	2	9.1
陽性が判明する前の1年間、ゲイナイト利用頻度		
まあ 利用した	1	4.5
あまり利用しなかった (半年に2回以下)	3	13.6
全く利用しなかった	15	68.2
無回答	3	13.6
陽性が判明する前の1年間、有料のハッテン場の利用頻度		
まあ 利用した	9	40.9
あまり利用しなかった (半年に2回以下)	6	27.3
全く利用しなかった	6	27.3
無回答	1	4.5
陽性が判明する前の1年間、野外のハッテン場の利用頻度		
まあ 利用した	7	31.8
あまり利用しなかった (半年に2回以下)	3	13.6
全く利用しなかった	10	45.5
無回答	2	9.1

資料 1

問 1. あなたの年齢を教えてください。

1. 10 歳代以下 2. 20 歳代 3. 30 歳代
4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代以上

問 2. あなたの自認する性別をお答えください。(1 つだけ○)

1. 男 2. 女 3. その他 ()

問 3. あなたの住んでいる居住地はどちらですか。() 都道府県

問 4. あなたのセクシュアリティをお答え下さい。(1 つだけ☑)

1. 男性同性愛者 (ゲイ) 4. 性同一性障害 (トランスジェンダー)
2. 両性愛者 (バイセクシュアル) 5. その他 ()
3. 異性愛者 (ヘテロセクシュアル)

問 5. あなたの現在の職業で最も近いのはどれですか。(1 つだけ☑)

1. 公務員、会社員 (正規雇用) 4. 学生
2. パート・アルバイト・契約社員 5. 現在は働いていない
3. 自営業・自由業・経営 6. その他 ()

問 6. あなたが HIV 陽性の診断を受けたのは何年ですか? ()年

問 7. あなたの HIV 感染が考えられる行為は以下のうちどれですか? (1 つだけ☑)

1. 同性間の性交渉 3. 薬物の使用・回し打ち
2. 異性間の性交渉 4. 不明・その他 ()

問 8. 感染したと思われるパートナーは以下のうちどれに当てはまりますか? (1 つだけ☑)

1. 特定の相手 (彼氏、恋人)
2. 知り合いだが特定ではない相手 (セックスフレンドなど)
3. その場限りのパートナー (一晚だけの相手など)
4. 金銭を介した性交渉 (風俗サービスの利用や援助交際など)
5. その他 () 6. わからない

問 9. 最初に HIV 陽性の告知を受けた機関はどちらですか? (1 つだけ☑)

1. 病院 4. 郵送検査・自己検査
2. 医院・クリニック 5. その他 ()
3. 保健所・保健センター

問 10. HIV 陽性が判明した検査は、どちらの都道府県で受けましたか?

1. 現在居住の都道府県
2. 現在居住している以外の県 →→ 差し支えなければ県名をお教えてください

()

問 11 HIV 陽性が判明したときの検査の受検のきっかけはどれでしたか？ (あてはまるものすべて☑)

1. 原因は分からないが、気になる症状や体調不良があった
2. エイズ発症や関連疾患と思われる症状があった
3. HIV 検査以外の病気の検査や手術前の血液検査をうけて
4. 他の性感染症にかかったから
5. 定期的に検査を受けていたから
6. パートナーとの交際に向けての事前確認として
7. 献血をして
8. 友達・知人・家族などの勧めで
9. セックスの相手が HIV 陽性だとわかった
10. 身近な友達での HIV 感染が判明したから
11. その他 ()

問 12. HIV 陽性が判明した際、医師から受けた診断は以下のどれですか？ (ひとつだけ☑)

1. HIV キャリアー (エイズは発症していない)
2. AIDS (エイズを発症している)
3. 上記、いずれもいわれなかった

問 13. HIV 陽性が判明した時の、あなたの CD4 陽性 T リンパ球数は次のうちどれに当てはまりますか？

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1. <input type="checkbox"/> 200 個未満 | 3. <input type="checkbox"/> 500 個以上 |
| 2. <input type="checkbox"/> 200 個-500 個未満 | 4. <input type="checkbox"/> 覚えていない |

問 14. HIV に感染したとき、下記のような急性期の症状はありましたか？

HIV の急性期症状とは？

インフルエンザによく似た症状で、検査をしてもインフルエンザは陰性であり、感染の機会から 2-4 週間後に突然 38 度以上の発熱が 1-2 週間、リンパ節の腫れ、強いのどの痛み、口内炎、だるさ、下痢などが特徴です。伝染性単核球症や無菌性髄膜炎と診断されることもあります。通常は数日から数週間で症状は自然に消えてしまいます。

- | | |
|--|--|
| 1. <input type="checkbox"/> あった | 3. <input type="checkbox"/> 覚えていない・・・★問 15 へ |
| 2. <input type="checkbox"/> ない・・・★問 15 へ | |

問 14-1) 急性期症状があった方にお尋ねします。その症状をきっかけに医療機関は受診しましたか？

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. <input type="checkbox"/> 受診した | 3. <input type="checkbox"/> 覚えていない |
| 2. <input type="checkbox"/> 受診していない・・・★問 15 へ | |

問 14-2) 前問で受診した医療機関では、HIV 検査を勧められましたか？ (1 つだけ☑)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1. <input type="checkbox"/> 勧められ、受けた | 2. <input type="checkbox"/> 勧められたが受けなかった |
|--------------------------------------|--|

3. 勧められなかった

HIV 陽性が判明する前のご事情についてお伺いします

★問 15 陽性判明前、あなたは HIV 感染症に対する下記の情報を知っていましたか。(知っているものすべて☑)

1. HIV は精液・血液と粘膜・傷口の接触によって感染する
2. 特にアナルセックスでは HIV の感染リスクが高い
3. HIV はコンドームで防げる

★ 問 16. 陽性判明前に、あなたは自分が HIV に感染する可能性をどのように思っていましたか？
(1つだけ☑)

1. まさか自分が感染すると思っていなかった
2. 感染している可能性はあるが、自分は大丈夫だろうと思っていた
3. いずれ自分も感染するだろうと思っていた

問 17. 陽性判明前に、「HIV に感染していても、治療によって一般の人と同じくらい長く生きることができる」ということをご存知でしたか？ (1つだけ☑)

1. 知っていた 2. 知らなかった

問 18. HIV の治療費について、医療費補助制度があるということをご存知でしたか？ (1つだけ☑)

1. 知っていた 2. 知らなかった

問 19. 陽性判明前にも、HIV 検査を受けたことがありましたか？ (1つだけ☑)

1. あった 2. なかった・・・◆問 21 へ

問 20 検査を受けたことがあった方にお尋ねします。最後の検査機会は、陽性判明前のどれくらい前ですか？ (ひとつだけ☑)

1. 半年前-1年前 3. 2年以上前
2. 1年以上前

◆問 21 陽性判明までに検査を受けたことがなかった方にお聞きします。検査を受けなかった理由は何ですか？ (あてはまるものすべて☑)

1. 面倒だった 5. 検査を受けるお金がなかった
2. 時間がなかった 6. 結果を知るのが怖かった
3. 休日に受検できる検査がなかった 7. 感染している可能性がないと思っていた
4. 検査場所を知らなかった

問 22. あなたは HIV 陽性が判明する前、以下のサイトを知っていましたか？ (知っているサイトに☑)

1. HIV 検査相談マップ



HIVマップ

すぐに役立つHIVの総合情報サイト

2. HIV マップ

問 23 以下のうち、HIV 陽性が判明する前にかかったことのある疾患はありますか？（あてはまるものすべて☑）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. <input type="checkbox"/> 梅毒 | 7. <input type="checkbox"/> 淋病 |
| 2. <input type="checkbox"/> 尖圭コンジローマ | 8. <input type="checkbox"/> 赤痢アメーバ |
| 3. <input type="checkbox"/> A型肝炎 | 9. <input type="checkbox"/> 帯状疱疹 |
| 4. <input type="checkbox"/> B型肝炎 | 10. <input type="checkbox"/> 繰り返す口内炎 |
| 5. <input type="checkbox"/> C型肝炎 | 11. <input type="checkbox"/> いずれもない・・・★問 24 へ |
| 6. <input type="checkbox"/> クラミジア感染症 | |

上記の疾患の診断を受けた病院での状況についてお聞きします。

問 23-1) 病院では HIV 検査を勧められましたか？

1. 勧められた
2. 勧められなかった・・・★問 24 へ

問 23-2) 勧められた検査を受けましたか？

1. 受けた
2. 受けなかった

今からプライバシーにかかわることをお聞きします。プライバシーは守られますので、どうかご協力をお願いいたします。男性（同性）との性行為で感染したと思われる方は以下の★問 24 から、異性のパートナーとの性行為で感染したと考えられる方は、◆ 問 32 から回答ください。

陽性が判明する前1年間の性行動についてお伺いします。覚えている範囲でお答えください。

★問 24 陽性が判明する前の1年間、特定の付き合っている相手（彼氏、恋人、パートナー）との性交渉でコンドームはどのくらい使用していましたか？

1. 特定の相手とセックスはしなかった
2. コンドームを必ず使った
3. 使ったり使わなかったりした
4. 使わなかった
5. 特定相手はいなかった

問 25 陽性が判明する前の1年間、友達やセックスフレンド（セクフレ）など、恋人ではない特定の相手とのセックスのときコンドームはどのくらい使いましたか？

1. 友達やセクフレとセックスはしなかった、またはセクフレはいなかった
2. コンドームを必ず使った
3. 使ったり使わなかったりした
4. 使わなかった

問 26 陽性が判明する前の1年間、その場限りの相手とのセックスのときコンドームはどのくらい使いましたか？

1. その場限りの相手とセックスはしなかった
2. コンドームを必ず使った
3. 使ったり使わなかったりした
4. 使わなかった

問 27 陽性が判明する前の1年間、その場限りの相手とどこで会いましたか？(あてはまるものすべて)

1. 9monsters、Jack' d など位置情報が必要な出会い系アプリ
2. 出会い系サイト
3. Twitter・LINE などの SNS
4. ゲイバー
5. 有料のサウナ・ハッテン場
6. 野外系のハッテン場 (公園、海岸、トイレなど)
7. ハッテン場で有名な銭湯・プールなどの施設
8. その他 ()
9. その場限りの相手とは出会わなかった

問 28 陽性が判明する前の1年間、下記の施設をどのくらい利用していましたか？

	よく利用した (週1回以上)	まあ 利用した	あまり利用しなかつ た (半年に2回以下)	全く利用しな かった
1) ゲイバー	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
2) ゲイナイト	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
3) 有料のハッテン場	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
4) 野外のハッテン場	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4

問 29 陽性が判明する前の1年間、あなたは下記のものをセックス時に使用したことがありますか？
(あてはまるものすべてに☑)

***回答はすべて厳重に管理され、あなたが特定されたり不利益を受けたりすることは一切ありません。**

1. ぼつき薬 (ハイゲラなど)
2. 5-MEO-DIPT (ゴマ・フォクシー)
3. その他のセクストラッグ (合ドラや威哥王など)
4. マリファナ・コカイン・大麻
5. ラッシュ
6. スピート・エクスター (MDMA など)
7. 静脈注射のドラッグ
8. いずれもない

問 30 HIV 陽性が判明する前、あなたは以下のコミュニティセンターを知っていましたか？

1. ZEL
(宮城県仙台市)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

2. akta
(東京都新宿区)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

3. SHIP
(神奈川県横浜市)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

4. rise
(愛知県名古屋市)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

5. dista
(大阪府大阪市)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

6. HACO(福岡県福岡市)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

7. mabui
(沖縄県那覇市)



- 1 判明前に行ったことがある
2 知っていたが、行ったことはない
3 知らない

問 31. HIV 陽性が判明する前、あなたは次のコミュニティペーパーを知っていましたか？

1. コミュニティペーパー
ZEL



- 1 読んだことがあった
2 読んだことはない

2. コミュニティペーパー
h. a. n. a.



- 1 読んだことがあった
2 読んだことはない

3. 季刊誌 南界堂通信



- 1 読んだことがあった
2 読んだことはない

4. ゲイコミュニティペーパー
Fight!



- 1 読んだことがあった
2 読んだことはない

5. コミュニティペーパー
nankr



- 1 読んだことがあった
2 読んだことはない

◆問 32 異性との性交渉で感染した方にお尋ねします。

1) HIV 陽性が判明する前、HIV 検査を保健所で受けられることはご存知でしたか？

1. 知っていた

2. 知らなかった

2) HIV 陽性が判明する前、HIV 検査を保健所で無料匿名で受けられることはご存知でしたか？

1. 知っていた

2. 知らなかった

問 33 HIV 陽性が判明する前、HIV 関連の情報は聞いたことがありましたか？

1. 知っていて注意していた

3. 知らなかった

2. 知っていたが気にはしなかった

以下は自由記載です。お手数をおかけしますが、有効な対策を考えるにあたり大変重要な情報となります。どうぞご協力をお願いいたします。

ご自身の経験を振り返って、陽性判明前にどのような情報・支援・環境があれば HIV 感染を防げたと思いますか？また、エイズ発症経験者については、どのような情報・支援・環境があれば発症する前に検査を受けることができたと思いますか？ぜひご意見をよろしくお願いいたします。

本調査について、または HIV の予防・検査についてご意見がございましたら、下記にお書きください。

ご協力本当にありがとうございました。

アンケートは回収箱へ投函、または返信用郵送に入れポストに投函ください。

皆様からの回答は、地域での診療や検査体制の整備、予防啓発活動等に還元させていただきます。